



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月30日

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社  
 コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 眞哉

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 菅野 申一

TEL 079-235-6004

四半期報告書提出予定日 2019年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	77,228	75.9	2,450	33.4	2,296	40.7	1,788	55.1
2019年3月期第1四半期	43,912	14.7	3,680	3.0	3,876	11.4	3,987	71.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,280百万円 ( %) 2019年3月期第1四半期 3,010百万円 (31.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	31.81	
2019年3月期第1四半期	123.77	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	365,452	197,515	52.8
2019年3月期	374,246	200,200	52.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 193,081百万円 2019年3月期 195,698百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		45.00		24.00	69.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		23.00		29.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	150,000	67.2	4,500	22.9	4,000	30.4	3,000	40.7	53.55
通期	300,000	61.4	11,000	8.7	10,000	6.0	7,000	9.3	126.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2019年6月19日開催の取締役会において、自己株式の取得および消却を決議いたしました。連結業績予想の1株当たり当期純利益については、当該自己株式の取得および消却の影響を考慮しております。なお、自己株式の取得および消却については2019年6月19日公表の「自己株式取得に係る事項の決定および自己株式の消却に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注) 詳細は、【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	57,437,307 株	2019年3月期	57,437,307 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,246,346 株	2019年3月期	1,212,166 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	56,225,072 株	2019年3月期1Q	32,213,970 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。)

【添付資料】

(目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9
参考資料	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期（2019年4月1日～2019年6月30日）におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかな回復基調で推移しました。景気の先行きにつきましては、通商問題の動向が世界経済に与える影響や中国をはじめとする新興国経済の減速懸念などによる海外経済の不確実性の高まりによって、依然として不透明な状況にあります。

特殊鋼業界におきましては、前期の後半から続く設備投資の停滞等による、工作機械、ロボット、半導体製造装置向けなど一部の産業機械向けの調整が継続していることなどから、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は、前年同期を下回る水準で推移いたしました。

このような中、当社グループの売上高は、スウェーデンの連結子会社Ovakoの売上高が、当第1四半期から計上されていることなどにより、前年同期比333億16百万円増の772億28百万円となりました。利益面では、Ovakoの営業利益の計上はありましたが、当社単体の営業利益が販売数量の減少や副資材価格の上昇等により減少したことやOvakoののれん償却費の計上などにより、営業利益は前年同期比12億29百万円減の24億50百万円、ROS（売上高営業利益率）は3.2%（前年同期は8.4%）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期にインドの持分法適用関連会社MSSSを連結子会社化したことにもなう段階取得に係る差益（14億59百万円）を計上していたことなどにより前年同期比21億98百万円減の17億88百万円となりました。

当第1四半期損益の概要

(単位:億円)

	当第1四半期	前年同期	差引増減	増減率(%)
販売数量(千t)	479	281	198	70.7
内、当社単体	255	281	-25	-9.0
内、Ovako(注2)	196	—	196	—
内、MSSS(注2)	28	—	28	—
売上高	772	439	333	75.9
営業利益	25	37	-12	-33.4
内、当社単体	23	35	-13	-35.7
内、Ovako	12	—	12	—
内、MSSS	-2	—	-2	—
内、Ovakoのれん償却費	-7	—	-7	—
経常利益	23	39	-16	-40.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	18	(注3) 40	-22	-55.1

(注1) 金額は億円未満を四捨五入しております。

(注2) Ovakoは当第1四半期から、MSSSは前第2四半期から損益を連結しております。

(注3) 特別利益に計上したMSSS連結子会社化にもなう段階取得に係る差益(14億59百万円)が含まれております。

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

**鋼材事業**

当第1四半期の売上高は、Ovakoの売上高が当第1四半期から計上されていることなどにより、前年同期比333億81百万円増の737億54百万円となりました。営業利益は、Ovakoの営業利益の計上はありましたが、当社における販売数量の減少や副資材価格の上昇、Ovakoののれん償却費の計上などにより、前年同期比10億65百万円減の21億70百万円となりました。

**粉末事業**

当第1四半期の売上高は、電子材料分野向けの販売数量の減少などにより、前年同期比1億1百万円減の10億92百万円となりました。営業利益は、電子材料分野向けの販売数量の減少や販売単価の低下などにより、前年同期比1億27百万円減の69百万円となりました。

**素形材事業**

当第1四半期の売上高は、販売数量の減少などにより、前年同期比78百万円減の46億29百万円となりました。営業利益は、販売数量の減少や副資材価格の上昇、修繕費の増加などにより、前年同期比26百万円減の1億89百万円となりました。

**その他**

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、当第1四半期の売上高は前年同期比20百万円減の3億7百万円、営業利益は0百万円（前年同期は0百万円の営業損失）となりました。

**(2) 財政状態に関する説明**

当第1四半期末の総資産残高は、現金及び預金やたな卸資産の減少などにより、前期末比87億93百万円減の3,654億52百万円となりました。負債残高は、支払手形及び買掛金の減少などにより、前期末比61億8百万円減の1,679億36百万円となりました。純資産残高は、その他の包括利益累計額の減少などにより、前期末比26億84百万円減の1,975億15百万円となりました。この結果、当第1四半期末におけるD/Eレシオ（純資産残高に対する有利子負債残高（現預金残高控除後）の割合）は0.36（前期末は0.34）となりました。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

わが国の景気が緩やかな回復を続けていくことが期待される一方で、通商問題等による海外経済の不確実性の高まり、特殊鋼業界における国際競争の激化などもあり、当社グループをとりまく事業環境は、引き続き楽観を許さない状況で推移するとみられます。

こうした中、当社グループは、第10次中期経営計画「Sanyo Global Action 2019」に掲げたとおり、経営理念『信頼の経営』のもと、生産構造改革の実行などによる事業基盤の強化、技術先進性のさらなる追求、「高信頼性鋼の山陽」のグローバルブランド化を推進することで、競合激化、原料・副資材・エネルギー価格の上昇等の厳しい経営環境においても、人・技術・利益の持続的成長を追求してまいります。また、日本製鉄、Ovakoとの連携に関しましては、当社およびグループ会社のポテンシャルを最大限発揮し、相乗効果の早期発現を図ってまいります。

連結業績予想に関しましては、鉄スクラップ価格が2019年5月8日公表の業績予想の想定に比べ低位で推移していることなどから、当社単体の営業利益は予想値を上回るとみられるものの、欧州およびインドの特殊鋼需要の回復遅れなどにより、OvakoおよびMSSSの販売数量が想定を下回る見込みであることなどから、2020年3月期第2四半期累計期間および通期の予想を以下のとおり修正いたしました。

(単位:億円)

	今回修正予想			前回予想(5/8公表)			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
販売数量(千t)	934	944	1,878	990	960	1,950	-56	-16	-72
内、当社単体	495	513	1,008	516	528	1,044	-21	-15	-36
内、Ovako	387	349	736	405	345	750	-18	4	-14
内、MSSS	52	82	134	69	87	156	-17	-5	-22
売上高	1,500	1,500	3,000	1,600	1,550	3,150	-100	-50	-150
営業利益	45	65	110	65	45	110	-20	20	-
内、当社単体	45	56	101	35	37	72	10	19	29
内、Ovako	17	16	33	42	15	56	-25	2	-23
内、MSSS	-4	5	1	1	5	6	-5	-	-5
内、Ovakoのれん償却費	-13	-13	-26	-14	-14	-27	1	1	1
経常利益	40	60	100	60	40	100	-20	20	-
親会社株主に帰属する当期純利益	30	40	70	46	24	70	-16	16	-
1株当たり当期純利益(円/株) (注2)	53.55	/	126.46	81.81	/	124.50	-28.26	/	1.96
Ovakoのれん償却前営業利益	58	78	136	79	59	137	-21	19	-1
Ovakoのれん償却前親会社株主に 帰属する当期純利益	43	53	96	60	38	97	-17	15	-1
Ovakoのれん償却前1株当たり 当期純利益(円/株) (注2)	76.75	/	173.43	105.82	/	172.52	-29.07	/	0.91

(注1) 金額は億円未満を四捨五入しております。

(注2) 当社は、2019年6月19日開催の取締役会において、自己株式の取得および消却を決議いたしました。1株当たり当期純利益につきましては、当該自己株式の取得および消却の影響を考慮しております。

また、今回の業績予想修正にともない、配当予想を以下のとおり修正いたしました。

	年間配当金 (円/株)			配当性向 (連結) (注)	(ご参考) Ovakoのれん償 却前利益に対 する配当性向
	第2四半期末	期末	合計		
前回発表予想(A)	31.70	20.00	51.70	41.5%	30.0%
今回修正予想(B)	23.00	29.00	52.00	41.1%	30.0%
増減(B-A)	-8.70	9.00	0.30	-0.4%	-
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	45.00	24.00	69.00	29.0%	/

(注) 当社は、2019年6月19日開催の取締役会において、自己株式の取得および消却を決議いたしました。配当性向(連結)につきましては、当該自己株式の取得および消却の影響を考慮しております。

(注) 業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,385	19,955
受取手形及び売掛金	75,201	75,557
電子記録債権	7,371	7,573
商品及び製品	26,268	24,587
仕掛品	43,734	44,590
原材料及び貯蔵品	25,489	23,871
未取還付法人税等	61	123
親会社株式	1,127	1,067
その他	10,083	7,587
貸倒引当金	△173	△191
流動資産合計	211,549	204,722
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	59,959	59,310
その他（純額）	43,886	45,561
有形固定資産合計	103,846	104,871
無形固定資産		
のれん	42,400	40,574
その他	3,189	3,176
無形固定資産合計	45,590	43,751
投資その他の資産	13,259	12,105
固定資産合計	162,696	160,729
資産合計	374,246	365,452
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,000	35,731
短期借入金	52,834	38,124
コマーシャル・ペーパー	8,000	10,000
未払法人税等	2,615	596
賞与引当金	2,180	1,107
役員賞与引当金	97	26
環境対策引当金	169	85
その他	22,563	24,486
流動負債合計	127,461	110,158
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	20,508	30,398
役員退職慰労引当金	48	49
債務保証損失引当金	3	2
環境対策引当金	143	153
退職給付に係る負債	11,265	11,718
その他	4,614	5,455
固定負債合計	46,584	57,778
負債合計	174,045	167,936

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,800	53,800
資本剰余金	55,896	55,896
利益剰余金	85,715	86,154
自己株式	△1,923	△1,975
株主資本合計	193,489	193,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,177	1,643
繰延ヘッジ損益	—	△687
為替換算調整勘定	△39	△1,241
退職給付に係る調整累計額	70	△509
その他の包括利益累計額合計	2,209	△795
非支配株主持分	4,501	4,434
純資産合計	200,200	197,515
負債純資産合計	374,246	365,452



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	43,912	77,228
売上原価	36,430	66,308
売上総利益	7,481	10,919
販売費及び一般管理費	3,801	8,468
営業利益	3,680	2,450
営業外収益		
受取利息	10	41
受取配当金	131	135
受取賃貸料	15	82
その他	114	23
営業外収益合計	272	283
営業外費用		
支払利息	26	222
為替差損	—	175
その他	49	39
営業外費用合計	76	437
経常利益	3,876	2,296
特別利益		
段階取得に係る差益	1,459	—
固定資産売却益	—	34
特別利益合計	1,459	34
特別損失		
固定資産除売却損	175	27
特別損失合計	175	27
税金等調整前四半期純利益	5,159	2,304
法人税、住民税及び事業税	820	97
法人税等調整額	346	563
法人税等合計	1,166	661
四半期純利益	3,993	1,643
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	6	△145
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,987	1,788

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	3,993	1,643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△406	△534
繰延ヘッジ損益	—	△687
為替換算調整勘定	△103	△1,121
退職給付に係る調整額	△22	△580
持分法適用会社に対する持分相当額	△450	△0
その他の包括利益合計	△982	△2,923
四半期包括利益	3,010	△1,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,010	△1,215
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△64

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することといたしました。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が1,933百万円増加し、流動負債の「その他」が757百万円および固定負債の「その他」が1,178百万円増加しております。当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	37,960	1,194	4,708	43,863	48	43,912	—	43,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,412	—	—	2,412	279	2,692	△2,692	—
計	40,372	1,194	4,708	46,275	328	46,604	△2,692	43,912
セグメント利益 又は損失(△)	3,236	196	215	3,648	△0	3,647	32	3,680

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。  
 2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。  
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	71,463	1,092	4,629	77,185	42	77,228	—	77,228
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,291	—	—	2,291	265	2,556	△2,556	—
計	73,754	1,092	4,629	79,477	307	79,785	△2,556	77,228
セグメント利益	2,170	69	189	2,429	0	2,429	20	2,450

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。  
 2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 参考資料

## 2020年3月期 第1四半期決算発表

## 1. 当第1四半期の業績と業績予想

(単位：千t、百万円、%)

	当第1四半期 (実績)	前第1四半期 (実績)	増減	増減率	業績予想(※)	
					第2四半期 累計期間	通期
売上高	77,228	43,912	33,316	75.9	150,000	300,000
営業利益 (ROS)	2,450 (3.2)	3,680 (8.4)	△1,229 (△5.2)	△33.4	4,500 (3.0)	11,000 (3.7)
(内、単体)	2,263	3,519	△1,255	△35.7	4,500	10,100
(内、Ovako)	1,192	—	1,192	—	1,700	3,300
(内、MSSS)	△206	—	△206	—	△400	100
(内、Ovakoのれん償却)	△659	—	△659	—	△1,300	△2,600
経常利益	2,296	3,876	△1,579	△40.7	4,000	10,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,788	3,987	△2,198	△55.1	3,000	7,000
売上数量	479	281	198	70.7	934	1,878
(内、単体)	255	281	△25	△9.0	495	1,008
(内、Ovako)	196	—	196	—	387	736
(内、MSSS)	28	—	28	—	52	134
設備投資	3,431	1,358	2,072	152.5		27,000
減価償却費	3,645	2,100	1,544	73.5		16,000

(※) 予想(7月以降)の主要前提：鉄スクラップ(姫路地区H2市況)25.5千円/t、原油(ドバイ)65\$/BL、為替105円/\$、120円/€

(参考) 四半期業績推移

(単位：千t、百万円、%)

	2019年3月期					2020年3月期
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期	4-6月期
売上高	43,912	45,823	49,496	46,586	185,818	77,228
営業利益 (ROS)	3,680 (8.4)	2,156 (4.7)	2,378 (4.8)	1,907 (4.1)	10,123 (5.4)	2,450 (3.2)
経常利益	3,876	1,873	2,343	1,344	9,437	2,296
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,987	1,073	2,121	539	7,721	1,788
売上数量	281	291	310	290	1,171	479
(内、単体)	281	251	270	258	1,061	255
(内、Ovako)	—	—	—	—	—	196
(内、MSSS)	—	40	39	31	110	28

## 2. 当第1四半期の営業利益増減要因(対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 販売価格・構成	7	1. 販売数量	9
2. 変動費のコストダウン	2	2. 諸資材・外注、物流費	9
3. 固定費の減少	1	3. 原燃料価格	2
4. Ovako営業利益	12	4. 修繕費	2
		5. Ovakoのれん償却額	7
		6. MSSS営業利益	2
		7. その他連結子会社の利益減等	3
計(A)	22	計(B)	34
		差引(A) - (B)	△12